

# 集団的自衛権

—— 県関係国会議員に聞く ——

集団的自衛権行使容認で、政府が閣議決定原案を示すなど、与党協議が大詰め局面を迎えている。自民党内で行使容認に異を唱える村上誠一郎氏(衆院愛媛2区)に集団的自衛権や協議への評価などを聞いた。

(聞き手・松本尚也) 11面参照

かどうかも議論していきなかつたことになり、(5月の首相会)で言うのは簡易(の)説明にしても韓単だがいったん戦争、国で日本の親子が逃げ戦闘が始まってここで遅れてアメリカの艦船引き返すなんて言えるに、乗るなんてレアケース。枝葉末節な例を集

安倍晋三首相は憲法解釈変更で集団的自衛権行使の容認を目指している。

憲法をどう読んだか

集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更に対し、反対の姿勢を示す村上誠一郎氏(19日、国会内)



村上誠一郎氏(衆院愛媛2区)

## 解釈変更 憲法の自殺

集団的自衛権の突破口にしようとしている。典型的な集団的自衛権というものは、自

政府は武力行使を限定的とするが、歯止めはきくか。

実際に集団的自衛権の行使が必要となるケースがあるのか。北朝鮮が米国に向けて撃つたミサイルを撃ち落とすことが物理的に可能

本当に米国が助けてほしいときにだめなん

言ったら、それこそ

行使を宣言して結局何を

たかどうかも議論していきなかつたことになり、(5月の首相会)で言うのは簡易(の)説明にしても韓単だがいったん戦争、国で日本の親子が逃げ戦闘が始まってここで遅れてアメリカの艦船引き返すなんて言えるに、乗るなんてレアケース。枝葉末節な例を集

憲法はあつてなきがごとしになる。学校の授業で三権分立を守れ、立憲主義を守れと教えているのに、国会議員はそれを無視し抵触することをやっている。次の世代に政治不信をもたらさないか心配している。

特定秘密保護法も国会法改正も憲法に関わる重要な問題。国民の知る権利や報道の自由などを阻害することに対し反対しないのは不思議でしょうがない。

国会議員のうち、憲法や立法に真剣に取り組んでいる人は何人いるのかと危惧している。

与党協議は近く結論が出る見通しだ。

憲法が政党協議で変

採決に欠席。13日には、

憲法が政党協議で変

採決に欠席。13日には、

採決に欠席。13日には、

採決に欠席。13日には、